

単位数	教科担当者	使用教科書・補助教材・その他
4 (2)	小林 優子 高澤 昌利 佐藤 弘善	精選古典 B 古文編 (筑摩書房) 完全マスター古典文法 (第一学習社) 常用国語便覧 (浜島書店)
必修 学校必修 ○ 必修選択 自由選択		ほか

◆学習の目標

- ・ 古典の文章について、読解・鑑賞の方法を修得し、言語感覚を高めるとともに、ものの見方・考え方を深める。
- 「古文」…基本的な文法事項に対する理解と基礎的な語彙力を身に付けることによって、作品の全体的な理解を可能にする。
- 「漢文」…句法・語句など、基本的な漢文の知識に支えられた読解力を身に付けることによって作品の全体的な理解を可能にする。

◆主な学習内容・方法

- (1) 古語や漢語の意味・用法を語源から掘り下げて理解する。
- (2) 文章の構成や展開に即して主題や要旨を捉える。
- (3) 助動詞や助詞・敬語法・漢文句法の理解を深め、表現に即してそのもつ意味を理解する。
- (4) 文学史の上でそれぞれの作品のもつ意義を理解する。
- (5) 受験問題を実際に解き、解法を学ぶ。

◆到達目標と評価の観点

- 〔標準〕
- ・ 古文、漢文を理解するための語彙力を充実させること。
 - ・ 文章の中で助動詞や助詞・敬語法・漢文句法を正確に理解すること。
 - ・ 複雑な文章の文脈を正しく把握する力を身に付けること。
 - ・ 文学史の流れを理解すること。
- 〔応用〕
- ・ 一定の時間の中で大意を理解し、問題に対処する力を身に付けること。
- 〔評価の観点〕
- ・ 予習復習、授業中の取組み姿勢を重視する。

◆評価の方法

- ・ 定期テスト及び問題演習・質疑応答などから総合的に判断する。

◆年間予定授業時間

予定時数	70 時間	1 学期 (26 時間)	2 学期 (28 時間)	3 学期 (16 時間)
------	-------	--------------	--------------	--------------

◆学習のしかた（予習・復習・宿題・課題・その他）

- ・教科書の本文をノートに写し、分からない語句、句法などを前もって調べておくこと。
- 参考書や教科書ガイドを丸写しにするのではなく、自分自身で調べるという作業が大切である。
- 。基本的な語句に関しては、その意味や用法を暗記すること。

◆授業計画 各クラスの生徒の実態に合わせ、教材の順序や時数を変更する場合がある。

学期	月	単元・教材等	時間	学習の内容	学習到達目標
1	4	徒然草	4	・随筆を読み、作者の自然観や人生観に触れ、ものの見方、感じ方を豊かにする。 ・平安女流文学への関心をもたせる	次の項目が理解できること。 ・徒然草の文学史的基礎知識を理解する。 ・清少納言の感性を理解する。 ・古典文法の理解（用言・助動詞・助詞・敬語法） ・基本句法、語彙の理解 ・選択肢問題と記述問題の演習を行い理解する。
		枕草子	8		
	5	紫式部日記	4	・平安女流日記が人生の回想記であることを理解する ・物語の世界に親しみ、登場人物の心情を読み取る。	
	6	源氏物語	6		
		大学入試問題演習	4	・大学入試問題の演習と解説を適宜行う。	
	7				
2	8	源氏物語	10	・平安時代の和歌に対する考え方に触れる。 ・展開に即して、内容を正確に読み取る。	次の項目が理解できること。 ・文法、語句の意味を正確に捉え文章全体を把握する。 ・古語の語彙を理解する。 ・登場人物の心情を、文脈に即して理解する。 ・古典文学史の理解 ・古典文法の学習（用言・助動詞・助詞・敬語法）と理解。 ・選択肢問題と記述問題の演習を行い理解する。 ・大学入試に対応できる実践的な力を身に付ける。
	9				
		古今和歌集仮名序	4	・評論に述べられた古人のものの見方、感じ方、考え方の特色を理解する。	
	10	無名抄	4		
		芭蕉	4	・近世の文章を読み、人間の心情のありようについて考える。	
	11	去来抄	2		
	12	大学入試問題演習	4	・大学入試問題の演習と解説を適宜行う。	
3	1	共通テスト演習	8	・大学入試問題の演習と解説	・選択肢問題と記述問題の演習を行い理解する。
	2	入試問題演習	8		
	3				